

第 59 号

平成 30 年 1 月

友 愛

編集・発行 愛荘町愛知川老人クラブ連合会

〒529-1313 滋賀県愛知郡愛荘町市731
福祉センター「愛の郷」内 ☎0749-42-7757


新春のお慶びを
申し上げます

本年もクラブ活動で
会員相互のふれあいを
深め元気に頑張りよう

日帰り旅行(恵那峡へ)

最後にりましたが、尚一層健康に留意され、皆様のご多幸を祈念し新年のご挨拶いたします。

又町行政との連携を深め、地域福祉に貢献できるよう取り組んでいきたいと思

います。

超高齢化社会に対応し、会員一人ひとりが健康寿命の増進を図ることと若手会員の加入推進に取り組むことの必要性を単位老人クラブとの連携を一層深めることにより、会員増強につなげていきたいと思

います。

昨年、全国老人クラブ大会が近隣の京都で開催され参加させていただきました。今、全国的に一番難題の会員減少問題について、それぞれの地域を活かした取り組みについて事例発表をされました。新しい年を迎え、愛知川老人クラブ連合会も今後現状維持が出来ていけるかを考えることが必要になってくることが想像されます。

新年あけましておめでとうございます。会員皆様におかれましては、輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。



愛知川老人クラブ連合会
会長 宇野 重一

新年のご挨拶



新年の挨拶

愛荘町長 宇野 一雄



住みよい地域づくりを共に進めていただきますよう、よろしく願い申し上げます。

あけましておめでとうございます。会員の皆様には、平成30年の新春をお健やかに迎えられたこととお慶び申し上げます。

日ごろは、老人クラブ連合会や単位老人クラブの活動を通して、福祉のまちづくりに温かいご支援・ご協力をいただき、深く感謝申し上げます。

さて、少子高齢化が急速に進む今日において、当町の高齢化率は9月末現在で21・82%となり、昨年より0・23ポイントアップしました。

このような中、誇りと生きがいを持って社会貢献活動や友愛活動などに積極的に取り組んでおられる老人クラブの皆様の役割は大変重要であると考えています。また皆様が培ってきた豊富な知識や経験を生かし、



さて、今年4月から第7期の『愛

荘町高齢者保健福祉計画および介護保険事業計画』をスタートさせます。この計画において、高齢者が住み慣れた地域でいきいきと暮らせる町づくりを推進してまいりたいと考えておりますので、より一層のご支援ご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

最後になりましたが、新年にあたり、愛知川老人クラブ連合会の今後ますますのご発展とご活躍を祈念いたしますとともに、希望に満ちた明るい一年となりますよう、心から祈りいたします。



新年の挨拶

社会福祉法人愛荘町社会福祉協議会

会長 北村 太一郎



住民主体の取り組みと合わせて、本格的に進められております。

さらに、平成30年度より「我が事・丸ごとの地域共生社会」の実現に向けて、社会福祉法等の福祉関連法の改正が目指されています。

「地域の福祉課題」を地域住民やボランティア、福祉専門機関と企業等が協働し、課題解決に向けて取り組む地域づくりを進めることが求められています。

新年あけましておめでとうございます。愛知川老人クラブ連合会会員の皆さまには、ご健勝にて新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。昨年中は、社会福祉協議会の事業運営各般に亘り、格別のご理解ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、少子高齢化の進行と人口減少時代を迎え、国ではあらゆる場で誰もが活躍する全員参加型の社会参加を目指す、一億総活躍プランなど誰もが支え合う地域共生社会の実現に向けて、制度や施策の見直しが進められているところです。介護保険法の改正により、昨年4月からは要支援認定者などに対する多様なサービスを提供する仕組みとして、新たに介護予防・日常生活支援総合事業を市町村が実施することとされ、

社会福祉協議会では、「みんなが進める 笑顔あふれる福祉のまちづくり」の理念のもとに、昨年に策定した第2次地域福祉活動計画に基づくプロジェクトを中心に、住民の皆さまをはじめ、関係機関や関係者の参画のもと、魅力ある福祉活動の取り組みについて、みんなで話し合い、課題解決に向けて一歩ずつ着実に進めてまいりたいと考えております。

今後とも、皆さまの一層のご支援とご協力をお願いいたしまして、新年のあいさついたします。

人権研修会 交通安全教室 特殊詐欺被害防止研修会に参加して

副会長 福永 一枝

去る七月十四日（金）福祉センター愛の郷に於いて研修会が開催され、単位クラブ会長・副会長をはじめ代表の会員の方々が参加されました。第一部の人権研修では、西川裕治先生の「高齢者の人権について」のお話でした。「人権は人の心に橋を架ける」つまり人は皆、平等であるという事を言われました。パラリンピックの話の中では失った物を数えるな、残された物を生かせ。不自由を感じたら可能な事に感謝し何事もプラス志向で…。私たちが日常忘れていた事に気付かされた良いお話でした。第二部は交通安全について、愛知川警部交番所 松宮衛所長の話です。最近の交通事故における加害者・被害者の高齢者の数が増加していることに危惧しているとの事。夜間の外出は控える。どうしてもの場合、反射材を使用する。道路を横断する際は、遠回りしてでも必ず横断歩道を渡ることを強調されました。

最後に特殊詐欺被害防止対策



平成29年度 第2回愛知川老人クラブ連合会 単位老人クラブ正副会長会開催

理事 藤居 和雄



平成二十九年八月二十五日（金）、愛知川老ク連単位老人クラブ正副会長会が愛の郷で開催されました。宇野会長のあいさつの中で全国的に老人クラブの会員が減少傾向にあるなか、全国百万人増強運動の展開について述べられました。当老ク連の中でも退会者がでていく地域に、再加入を促す事を確認しました。

二十九年度の表彰については、育成功労者表彰は中居和雄さんに、優良クラブ表彰は東円堂東老人クラブが承認されました。

十月十三日（金）愛知川公民館で開催される愛知川老人クラブのつどいは、本年度のメイン事業で、「健康・友愛・奉仕」の精神を一層増進することを目的に開催することとしました。記念講演は大道芸人の「たつきゆうさん」で承認されました。次いで、愛知・犬上老人クラブ大会・会員親睦日帰り旅行・第二回さわやかウォーキング&グラウンドゴルフ等盛りだくさんの議事が承認され閉会となりました。



第3回 愛荘町愛知川老人クラブのつどい開催 テーマ「伸ばそう！健康寿命、担おう！地域づくりを」

理事 藤池 百合子

平成29年10月13日（金）愛知川公民館で第3回愛知川老人クラブのつどいが、320名余りの参加をいただき盛大に開催されました。

「君が代」斉唱で始まり、物故者に対する黙祷が捧げられました。宇野会長より開会の挨拶があり、連合会会長表彰の育成功労者表彰として中居和雄氏が、優良クラブ表彰として東円堂東老人クラブが受賞されました。

来賓としてご臨席頂いた宇野町長、外川議会議員、宇野秦荘老人クラブ連合会会長北村社会福祉協議会会長の方々よりご祝辞を頂きました。

単位老人クラブ活動報告として、市の東老人クラブ寿会高橋会長より当クラブ

の成り立ちや取り組みが報告されました。その後、記念講演で大道芸人たつきゆうさんの「大道芸で笑

って健康に」の演題で楽しく笑って、体も動かしてリフレッシュできました。

その後、愛知川老人クラブ連合会コーラス部による「花の街」と「秋の歌」と「川の流れのように」が披露されました。そして百周年を迎えた「琵琶湖周航の歌」を全員で合唱したあと藤居副会長の閉会の挨拶があり、成功裏に つどいは終了しました。



会員親睦日帰り旅行

極楽行き列車で恵那峡へ

町間老人クラブ会長 居嶋 喜代久

あいにくの空模様ではありましたが、十月二十日（金）老ク連の日帰り旅行が実施されました。会員七十二名を乗せた二台のバスは旅行ならではのお酒、缶ビールをいただきました。車中楽しく語り合いちこり村へと向かいました。

「ちこり」はヨーロッパ原産の菊科の野菜で地元産業として地域の活性化、高齢者の積極雇用などを行っている総合一体型の日本最大のちこり栽培施設です。施設の見学や説明のあと売店でちこり焼酎の試飲など色々楽しく過ごすことができました。

次に昼食前の恵那の川上屋で地元特産栗の加工品など、あの人この人の顔をうかべながら土産を選びました。そして本日の一番の楽しみである飛弾牛と松茸ごはんの食べ放題を恵那峡山菜園にていただきました。約二時間のひと時を会員相互の親睦を深めよく飲み、よく



滋賀県交通安全推進大会に参加して

理事 辻野 ミト子

平成二十九年九月一日(金)ひこね市文化プラザで「県交通安全推進大会」が開催されました。最初に交通事故犠牲者に黙祷、続いて主催者の三日月知事が、高齢者の事故防止をスローガンに挨拶され、次に県警本部長の事故報告は、六年連続でマイナスが続く中で五十三人が現在の死亡者数でこの数は昨年の三分の一弱と報告されました。続いて安全優良者表彰で沢山の方が受賞されました。第二部は、守山市出身のジャズピアニスト加藤景子氏のコンサートでした。ピアノを弾くのは得意ですが、大勢の人前で喋るのは初めてですと静かに話し始められました。私がニューヨーク在住の折、日本に居る母の事故の知らせが入ってきました。運転中にカーナビを操作していた少年の車にはねられ脊椎



損傷で首が動かなくなり寝たきりになりました。家のリフォームをしたり床ずれで骨まで穴があき三ヶ月毎に病院を変わり加害者との連絡も保険で済まされ途絶えてしまい被害者生活が続きました。六年経った今、やっと過ぎた事と受け止めるようになりました。このお話は、交通事故がいかに悲惨であるかを改めて感じました。

最後に♪上を向いて歩こう♪を合唱し終了しました。

フラワーアレンジメント教室に参加して

理事 青木 進美

十一月二十一日(火)愛の郷において、愛知川老人クラブ連合会初の試みとして、フラワーアレンジメント教室が開催されました。

当日は、中里奈美子先生を講師にお迎えして、十三名の女性部員が参加。先生のご指導のもと、ピンクッション、ドラセナ、オンシジウム、ヒペリカム等の花々をオアシスに挿していき、最後にアンスリウムを彩りよく添えて、三十分程で生け終わりました。

高低を考えて鉢を入れ、花の形、彩



りを見ながら挿していくのは大変楽しく、夢中になりました。

また、オアシスを再利用して、松・葉ボタン・菊など挿すとお正月の玄関飾りになると教えていただき、ぜひ挑戦したいと思っています。どんな花飾りにしようかと、今からワクワクしています。

最後に、それぞれの作品と写真を撮って頂き、講座を終えました。

花は人の気持ちを優しくしてくれます。何時も、一輪の花を傍らに心豊かに日々を過ごしたいものです。

花とふれ合い、人と出会い楽しいのひと時を過ごさせて頂き、ありがとうございました。

第28回グラウンドゴルフ大会

副会長 塚本章

九月十四日(木)秋晴れのもと愛知川老人クラブ連合会のグラウンドゴルフ大会が、宇曾川グラウンドゴルフ場にて開催されました。多くの会員皆さまのご参加を頂き有り難うございました。ピストルの合図により競技が開始されました。会員皆さまの絆がより一層深まり、和やかな雰囲気の中に楽しく大会は終了いたしました。成績は左記の通りです。

優勝 青木 隆(市)

準優勝 西岡勝義(川久保)

第三位 安楽正子(市)



第21回ゲートボール大会

副会長 塚本章

九月二十六日(火)愛知川老人クラブ連合会の親善ゲートボール大会が、はつらつドームで開催されました。今回会員皆さまと本部役員から2チームの71名と多くのご参加を頂き、3コートに分かれ競技が始まり、第一ゲートを通してのが難しく、また遠くの相手のボールに当てる上手な会員もおられ、相手のボールをチームの作戦でコート外に出す場面などは日ごろの練習成果だと思えます。健康と交流をより一層深めた楽しい大会でした。成績は左記の通りです。

優勝 沓掛チーム

準優勝 長野西チーム



第三位 川原・百々町チーム
敢闘賞 山川原Bチーム

愛知・犬上老人クラブ大会に参加して

副会長 藤居 喜久男

平成二十九年度愛知・犬上老人クラブ大会が、十一月二十四日(金)愛知川公民館において二四〇余名の参加のもとに盛大に開催されました。当連合会・宇野会長の開会の言葉で始まり、国歌斉唱、物語者に対する黙祷のあと、主催者を代表して愛知・犬上老人クラブ連絡協議会・宇野会長の挨拶に続いて、同会長表彰で当連合会からは、老人クラブ育成成功労者の部で中居和雄氏が、優良老人クラブの部で東田堂東老人クラブ和老会が受賞されました。活動事例発表は、雨降野老人会北川乙彦氏から同会の冠句クラブの活動状況が発表され、俳句と同じ十二文字で季節感にとらわれないで冠句から句を詠む遊びがあることを楽しく聞かせていただきました。記念講演は、滋賀県老人クラブ連合会・瀬戸川副会長から映像による昭和時代(主に戦後)の農業や地場産業、街道の風景、私たちの子ども時代の遊びなど懐かしい思い出のシー

ンに胸が熱くなるひとときでした。アトラクションは、当老人クラブ連合会会員有志によるフォークダンスで大会を盛り上げていただきました。最後に会場全員で青い山脈を合唱し、次回開催地の甲良町老人クラブ連合会・田中副会長の閉会の言葉で大会を閉じました。



第56回 滋賀県老人クラブ大会に参加して！

副会長 村田 定

平成二十九年十一月十六日（木）に米原市の滋賀県立文化産業交流会館にて、県内各地より700余名の参加により「のばそう！健康寿命、担おう！地域づくりを」テーマに盛大に開催されました。

滋賀県老人クラブ連合会会長の挨拶のあと知事表彰、連合会会長表彰がありました。県老人クラブ連合会会長表彰として、当クラブの福永一枝さんが育成功労表彰を受賞されました。

大会宣言として

一、健康寿命をのばす「健康づくり活動」支え合う「友愛活動」の充実

一、老人クラブの仲間を増やす会員増強運動の推進

一、高齢者の暮らしを支える「地域支援活動」への参画

一、高齢者の交通事故や消費者被害の防止に向けた安全・安心なまちづくりの推進

極度に高齢化が進む中、住み慣れた土地で、いつまでも安心して健康的に暮らしていける仕組みづくりがますます重要になってきています。



このような状況の下、この大会を契機として、多くの高齢者が集う活力あるクラブづくりを進め、また、他世代や関係団体との連携を深めながら、尚一層、自助、共助の精神を発揮して、「ゆとり」と「うるおい」と「やすらぎ」に満ちた心豊かな長寿社会を目指し、豊熟シニアとして、多様な活動に取り組み、仲間同士が支え合い、ふれあい活動を推進して行くことの再確認をした有意義な大会でした。

愛荘町地域包括支援センター

介護予防についての相談は地域包括支援センターに

愛荘町地域包括支援センターは、みなさんが住みなれた地域で安心して暮らせるように、必要となる援助や支援を行うために設けられています。
高齢者のための相談窓口です。お気軽に相談してください。

自分の力で住みなれた地域で暮らすために、介護予防活動に取り組んだり、健康維持のために検診を受けたり、自発的に生活課題を解決する力

自助

高齢者の自立した生活



互助

家族や友人、地域での活動仲間など個人的な関係性を持つ人間同士が助け合い、それぞれが抱える生活課題を、お互いが解決し合う力

社会保険制度、医療や年金、介護保険などの、制度化された相互扶助

共助

公助

自助・互助・共助でも支えることができない問題に対して、最終的に対応する公的支援

相談窓口：愛荘町地域包括支援センター ☎0749-42-4690
愛荘町役場愛知川庁舎1階

